



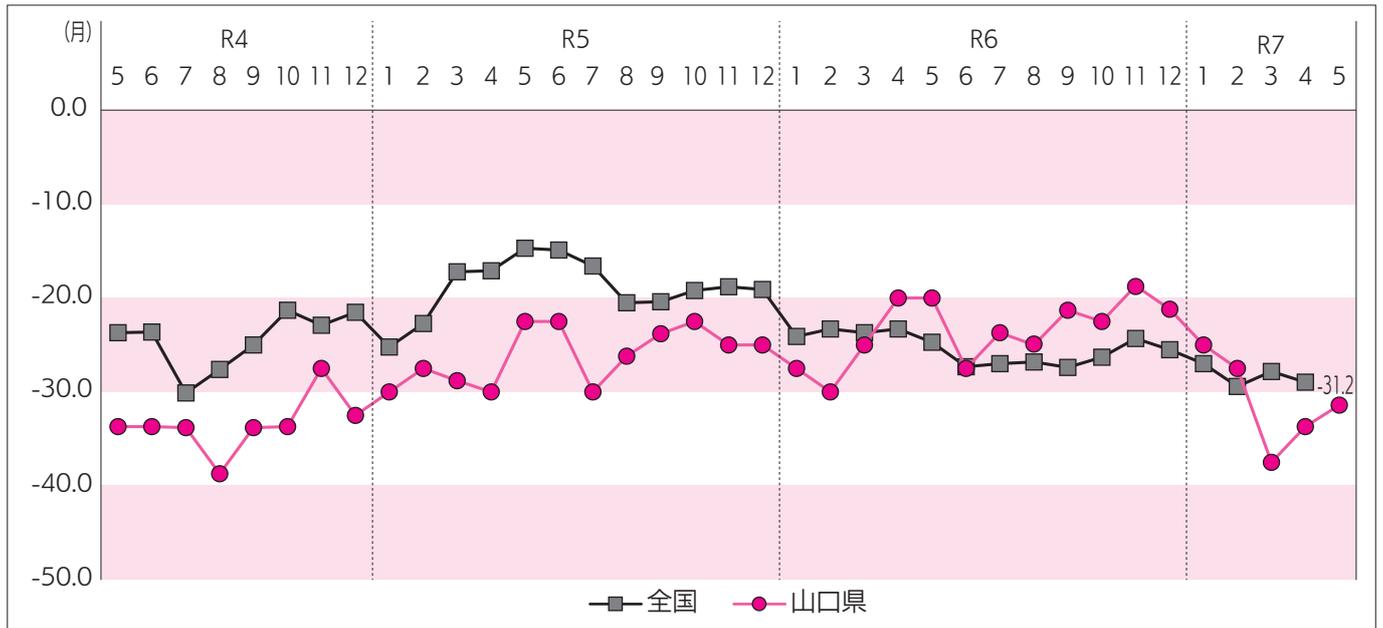
# 月次景況調査結果

令和7年5月期

製造業を中心に売上高が増加している業種が多い一方、原材料費・エネルギー価格の高騰や、人手不足による人件費・外注費の増加等により収益は悪化しており、5月期の景況DI値は僅かな改善に止まっている。収益の減少や人材確保が困難な経営環境にあることに加え、製造業や建設業の一部で受注量が減少傾向にあることや、米をはじめとした物価高により消費者の節約志向が高まっているなど、今後の事業運営を懸念する報告が多く寄せられている。

## 業界の景況DI値の推移 — 全国平均との比較 —

※DI値(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標です。  
DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 悪化組合割合



## 項目別のDI値

| 項目    | 前年同月比  |        | 前月比 |
|-------|--------|--------|-----|
|       | R 7.4月 | R 7.5月 |     |
| 売上高   | ▲23.7  | ▲20.0  | ↗   |
| 在庫数量  | ▲18.0  | ▲12.0  | ↗   |
| 販売価格  | 31.3   | 31.2   | ↘   |
| 取引条件  | ▲12.5  | ▲12.5  | →   |
| 収益状況  | ▲25.0  | ▲31.3  | ↘   |
| 資金繰り  | ▲16.2  | ▲15.0  | ↗   |
| 設備操業度 | ▲15.7  | ▲21.9  | ↘   |
| 雇用人員  | ▲17.5  | ▲13.8  | ↗   |
| 業界の景況 | ▲33.7  | ▲31.2  | ↗   |

### DI値

30以上…………… ☀ -30以上-10未満 ☁  
 10以上30未満…… ☁ -50以上-30未満 ☂  
 -10以上10未満… ☁ -50未満…………… ☔

## 業種別 業界の景況DI値

|       | 業種      | 前年同月比  | 前月比   |
|-------|---------|--------|-------|
| 製造業   | 食料品     | ▲37.5  | ☂ →   |
|       | 繊維工業    | 0.0    | ☁ →   |
|       | 木材・木製品  | 0.0    | ☁ →   |
|       | 印刷      | ▲50.0  | ☂ →   |
|       | 窯業・土石製品 | ▲50.0  | ☂ →   |
|       | 一般機器    | ▲25.0  | ☔ ↗   |
|       | 輸送機器    | 0.0    | ☁ ↗   |
|       | 非製造業    | 卸売業    | ▲80.0 |
| 小売業   |         | ▲42.9  | ☂ →   |
| 商店街   |         | ▲33.3  | ☂ →   |
| サービス業 |         | 0.0    | ☁ ↗   |
| 建設業   |         | ▲36.4  | ☂ →   |
| 運輸業   |         | ▲28.6  | ☔ →   |
| その他   |         | ▲100.0 | ☔ →   |

## 特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

|     |  |                            |
|-----|--|----------------------------|
| 食料品 | <p>理事会で意見交換を行ったが、景況感が厳しいとの声ばかりであった。今年度も昨年に引き続き「スイートマンデーおやつタイムプロジェクト」を実施することになり、組合の存在意義を発揮した事業にしたい。</p>   | <p>パン・菓子製造業<br/>山陽小野田市</p> |
|     | <p>4月に値上げを行った関係で、売上は微増であったが収益は改善された。</p>   | <p>パン・菓子製造業<br/>下関市</p>    |
|     | <p>円安は少しずつ回復傾向にあるものの、原料や水道光熱費の高騰や人件費(時給の最低賃金)の上がり幅が大きいため、商品の値上げが追い付かない状況。商品の単価設定を見直していく必要がある。5月はゴールデンウィーク中の動き(売上げ)が全体的に影響し、休み明けの商品の注文が減少している模様。企業によっては前年より売上高が落ちてるところもある。これを踏まえて、夏休みやお盆に向けての対策を考えていく。</p>  | <p>水産食料品製造業</p>            |
|     | <p>2025年5月は全国的に慢性的な米不足が続き、農協の概算金が大幅に上昇したことにより売上高の増加が見込める状況となった。ただ、いままでの肥料、農薬、燃料代などの上昇分を吸収できるくらいとなるため、利益率については、変更が無い。例年に比べ、異常な高温の日が長く続いたせいか、お米の等級については、昨年より低下することとなった。新たな農林水産大臣が就任し、備蓄米を機動的に放出する体制が整ったが、そもそも、備蓄量が、日本の年間消費量の2か月分程度しかないので、食料安全保障という観点からは、4か月分程度の在庫がほしい。寒い日が続き麦の生育が遅れるなど、地球温暖化にともなう気候変動の影響を受けている。温暖化に伴う気候変動の対策が必要であるが、その対策については、目に見えて進めているような政策がほとんどなく、水素ステーションの構築、燃料電池の積極的な導入、グリーンアンモニアの生産拡大など、ゼロカーボン型社会の実現に向けた政策の加速化が強く求められている。また、日本の発電量に占める化石燃料の利用率約70%という数値も国際社会的にみても異常に高いので、早急に自然エネルギーの利用と原子力などによる発電に関する0カーボンの比率を70%にさせるなどの改善が必要である。ロシアがウクライナに進行して3年を経過したが、新たに就任したアメリカのトランプ大統領が停戦に向けて意欲をみせるなど、戦局について変更の兆しが現れている。中東情勢の悪化に伴う世界情</p> | <p>精穀・製粉業</p>              |

|         |   |                     |
|---------|---|---------------------|
|         | <p>勢が混沌として、原油・天然ガス等の資源不足が懸念されている。国際的な原油価格が上昇し、それに伴って肥料価格が前年比 160% アップという驚異的な結果となっている。特に、ガソリン価格の対策費の継続と食料安全保障対策を早急に図るなどの措置が必要となってくる。よって、北朝鮮・中国などの情勢を注視しながら、迅速に対応することが必要となる。トランプ大統領が、相互関税を導入するなど保護主義が強まっている。世界的な景気後退に関する懸念が広がっている。</p>  |                     |
|         | <p>気象変動の乱れが野菜類を直撃しており、大根・人参といった根野菜が不足し、茄子やキュウリは十分な量が確保できない状況。そのため、野菜の高騰が続き仕入に苦慮している。切干大根や乾燥シイタケの量が激減し、仕入先の倒産など欲しくても手に入らず、どうすることもできない状況。米は1年分をまとめて購入しているので大きな影響は出していないが、今後の価格の変動は注視していきたい。</p>   | 食料品製造業              |
| 繊維工業    | <p>求人・採用は安定している。</p>  | 外衣・シャツ製造業           |
|         | <p>募集をかけても反応がなく、人手不足が解消出来ずに外注先に頼らざるを得ない状況。</p>  | 帆布製品製造業             |
| 木材・木製品  | <p>組合員7社の平均値は、売上額前年同月比20%減であった。</p>   | 製材業・木製品製造業          |
| 印刷      | <p>アメリカの関税政策が世界中に大きな波紋を広げている。日本においても現実に発効されれば、自動車産業などに多大な影響が出るのは明らかであり、今後の政府の対応に注目している。また、米の価格高騰や7月からの各種生活必需品・食料品の更なる値上げも予定されるなど、国民生活は更なる苦難を強いられると推測される。印刷業界も原材料の高騰に加え、従来の紙媒体の印刷物は減少傾向にあることから厳しい状況が続いている。各社とも新しいビジネスモデルの構築のためアクションを起こしているが、本業として定着するまでにはまだ時間を要す、というのが現実である。</p> | 印刷業<br>山口市          |
|         | <p>大型連休等もあり工場の稼働率が下がり、売上も減少した。</p>  | 印刷業<br>下関市          |
| 窯業・土石製品 | <p>原材料（セメント・重油等）の高騰、賃金アップ、人材確保の理由により4月から15%程度の値上活動を実施。</p>  | コンクリート製品製造業<br>県内全域 |
|         | <p>需要の減少により生産量が落ち込んだため設備費の維持費用の負担率が高くなっている。現場での量も減少しており、少量での配送が運賃コストに影響している。</p>  | コンクリート製品製造業<br>防府市  |

|      |  |                          |
|------|--|--------------------------|
|      | 出荷量は、前月比 103%、前年同月比 79%であった。現時点では、セメント・骨材等の資材調達に、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。一部の地区で値上げの動きがある。   | 生コンクリート製造業               |
|      | 昨今の生活スタイルの変化に伴い、墓じまい（墓石の撤去・処分）が増える一方で、新規の契約もある。新規の場合は、撤去する際にも費用がかかる点など、家族でよく話し合ってもらい、本当に必要なのかを時間をかけて判断していただくようにしている。   | 石工品製造業                   |
|      | ゴールデンウィークに開催した萩焼まつりは、窯元と小売店の2会場に分かれて出店した。商工会議所の力添えのおかげもあり、会場には多くの来場者があり大盛況だった。実店舗を持っている店も多い中、実店舗にも足を運んで頂いたお客様にはスタンプラリーの得点を倍にする等の工夫があり、萩市内どこでも楽しめる工夫がされたおかげで、会場と実店舗どちらも充実していた。6月は閑散期となり在庫を積む季節なので、秋に向けて、暑すぎない今の時期に頑張りたい。  | 陶磁器・同関連製品製造業             |
| 一般機器 | 5月は毎年、コンビナート内で大型の定期修理期間となり、繁忙期となる。特に今年は、大規模となっていることと、一部で大きな建設工事も重なっており、県外の同業他社も対応している模様。価格もそれなりについてきているのではないかと思われるが、その分、材料費・人件費も高騰しているため、利益率は横ばいのところが多いのではないかと推測される。   | 一般産業用機械<br>・装置製造業<br>下松市 |
|      | 外注加工費・原材料費の上昇が収益状況を厳しくしている。値上げ交渉については比較的応じてもらえているが、人手不足・設備不足による生産量の減少が外注加工費の増加に繋がり、材料費の高騰と合わせて収益状況の改善を難しくしている。ロシア案件は停止中なので、終戦すれば状況も変化すると思われる。トランプ大統領による「石油を掘って掘って掘りまくれ」という発言へのアクションの結果が出れば、中近東も北米も大きな変化が起こるのではないかと、来年以降に注目している。3ヶ月ではまだ結果は出ていない。受注量が変わらず多く受注見通しも良いが、得意先は時期的に忙しくないところが多い。そのため納期調整は以前より楽になっているが、人手不足で受注量を捌くことが難しくなっている。 | 一般産業用機械<br>・装置製造業<br>防府市 |

|             |   |                                   |
|-------------|---|-----------------------------------|
| <p>一般機器</p> | <p>アメリカが進める関税政策も若干の調整が進んできてはいるが、日本経済にも既に影響が出始めており、今後どの程度の影響があるか不透明な点があり慎重に見極める必要がある。それにより、設備投資等が低調になることがあれば景気状況が大幅に悪化することが懸念される。その場合、一時的に人材のだぶつきが発生することも覚悟しておく必要があると考えている。厳しい中でも、当組合員の各業種とも当面の事業量を確保しており、人材の確保に苦慮している。特に、介護・建設・食品加工に加え自動車整備・自動車運転手の確保が喫急の課題となっており、外国人人材への切り替えが進んでいる。しかしながら、外国人人材確保の面でも低賃金の影響は大きく、ベトナムでは高賃金の韓国への希望が高い。また、賃金は日本より低い、簡易な手続きでなおかつ規制も緩く、長期に滞在できる台湾・シンガポールの人気も高くなっている。今後は多数の若年人口を抱えるインドネシア・インドへシフトせざるを得ないが、現状の賃金環境が継続するといずれは行き詰る。諸外国に劣らないような高賃金体制にすることが急務である。また、日本国内での賃金格差の解消にも早急に対処する必要があるが、既に全国の地方で人材不足が顕著になっており自治体間競争が始まっている。安定的人材確保を目指してインドネシア中部ジャワ州送り出し機関との連携を行い、賃金対応のみならず多文化共生社会づくりへの対応による生活環境・文化環境・教育環境・日本語教育等の充実による魅力づくりに取り組んでいる。</p> | <p>一般産業用機械<br/>・装置製造業<br/>宇部市</p> |
|             | <p>単発の受注はあるが、長期にわたる契約が減少傾向である。</p>  | <p>一般産業用機械<br/>・装置製造業<br/>宇部市</p> |
|             | <p>アメリカ関税の影響を直接受けているという声は、あまり聞かない。</p>  | <p>一般産業用機械<br/>・装置製造業<br/>周南市</p> |
|             | <p>県内の技能実習生が減っている職種があるように感じる。技能実習かどうかは分からないが、介護助手・看護助手の扱いでリハビリ病院で働くベトナム人を見かけたので職種によっては増加しているのかも知れない。</p>  | <p>一般産業用機械<br/>・装置製造業<br/>下関市</p> |
| <p>輸送機器</p> | <p>鉄道車両関係は、全体の受注量が減少傾向にあり大幅な受注減の見通し。2025年度11月頃から多少の受注増加の予定ではあるが、本格的な稼働は2026年度以降になる見通し。人件費や原材料費・電気料等の高騰および借入金の金利上昇圧力もあり、収益面で厳しい状況が続くものと思われる。半導体製造装置の部品製造業において、当初の予測よりも大幅に受注量が減少。引き続き低位に推移。市内企業の新製造棟により受注増加の期待があ</p>  | <p>鉄道車両・同部品製造業</p>                |

|     |   |                |
|-----|---|----------------|
|     | るものの、時期は未定。   |                |
| 卸売業 | 5月も含め、安定した倉庫運営が続いている。全体の倉庫利用率は5月末で96%であり、組合員以外を取り扱っている倉庫は100%である。ただ、入出庫がそれほど活発ではなく、荷役が少な目であり、好調とまでは言えない状況である。   | 乾物卸売業          |
|     | 底引き船の運用が1組復活し、わずかながら明るい兆しが見える。  | 生鮮・魚介卸売業       |
|     | 事業所によって多少異なるが、あまり景気が良いとは言えない状況。   | 各種商品卸売業<br>防府市 |
|     | 仕入高の高騰により、資金繰りが悪化している。  | 各種商品卸売業<br>山口市 |
|     | もともと高齢化・人口減少の進んだエリアであり商売は厳しい場所だが、今後は金利の上昇なども含め、マーケットの縮小が加速的に進む可能性があり、倒産も増えると推測される。  | 各種商品卸売業<br>下関市 |
| 小売業 | 県内の化粧品専門店の売上状況は、前年より僅かに減少の様相。野菜などは安くなってきたものの、お米やガソリン・光熱費などの高騰が化粧品の購買意欲に影響を与えているようである。インバウンドの観光客が増えているといわれているが、以前のように化粧品を買いに来る方は減少したように思う。経済新聞によると、都心部や百貨店などでは化粧品業界は回復傾向にあるといわれているが、地方の小売店に関してはかなり遅れてくるのではないかと推測される。 | 化粧品小売業         |
|     | 令和7年5月の売上は対前年+4.8%増加。人手不足により月1日の全館休館日を設けており、営業日が1日減少したこと、昨年度入れ替えとなった旧2店舗が前年は閉店しており、新店はGWのみ営業していたことが要因と考えられる。ただ、売上高の増加が来場者の増加(+9.1%)に追いついておらず、景況感は引き続き厳しく感じられる。  | 各種商品小売業<br>萩市  |
|     | 5月の供給状況は前年比102.0%、来店者数は前年比100.1%であった。お米の入荷が週1日数量限定となっている。野菜の入荷が数量・品種ともに増えたので、供給は好転している。(じゃがいもの入荷は減少している。)   | 各種商品小売業<br>下関市 |
| 商店街 | 大型連休後となる5月は例年、消費行動にはブレーキがかかる。昨今の米騒動を筆頭に、あらゆる物価が上昇して、積極的な買い物活動にはなっていないのが現状。流通の上流にある問屋、メーカーも小売り口の売れ行きが鈍ると仕入れが停滞する。それでも供給を続けていけば、今度は自社に負担が及ぶことになる。先行きの不透明感もあり、収入や利益のある者も支出や消費を控える傾向が強く、市況は非常に厳しい。そんな中で岩国市で             | 岩国市            |

|       |  |            |
|-------|--|------------|
|       | は、消費の喚起を目的にしたプレミアム付き商品券の運用が決まった。バラマキと言われることもあるが、こうした直接的な施策は瞬間的には有効な手段だと感じる。ただし、一過的な効果であることは従前から分かっているため、この好機を後に活かすアイデアや工夫が寛容になる。一方、繁華街や商店街は、人出の減少と回復が喫緊の課題となっている。日中の人通りが少なく店が閉店すると、消費者の来街目的は更に減少することが懸念される。  |            |
|       | 5月の気候も相まって、商店街では買い物客が増加傾向にあると感じる。17日は周南地域マーケット・25日は蚕の市が開催され、多くの来客に恵まれた。秋にもイベント開催を検討しているので、補助金を活用していきたい。  | 周南市        |
|       | 飲食店が不振なので、納品も減少している。お米の値段の高騰が、様々な面に影響を与えている。   | 山口市        |
|       | 商店街の閑古鳥に手の打ちようがない。   | 宇部市        |
|       | 食料品等の最寄品は変わらず堅調だが、買回り品・高額品は売上が伸び悩んでいる。商店街の来街者数は、若干増加している。  | 萩市         |
|       | 本格的にポイントシステムの変更に動き出す予定。現在加盟店に参加を呼び掛けている。来街者の増加に繋がることに期待。   | 下関市        |
| サービス業 | 今年のゴールデンウィークは飛び石連休だったため、近場での小旅行をされる方が多かったようで、連休を利用して美容院に行くという方も多かった模様。その影響か、昨年より若干収益は上がったとみられる。  | 美容業        |
|       | 長引く物価高やエネルギーコストの上昇などで、依然として厳しい状況が続いている。  | 理容業        |
|       | 山口県の令和7年4月の新車新規登録台数は、登録車2,762台で対前年同月比108.7%のプラス、軽自動車も1,963台で対前年同月比116.6%のプラスとなり、全体で111.8%のプラスであった。2025年に入って4ヶ月連続のプラスとなり、出荷台数等も安定してきた状況とみられる。一方、トランプ関税が全世界の経済状況に大きな不安要素をもたらし、特に自動車業界は戦々恐々の状況。国内では大手メーカーの工場閉鎖や、輸出台数の減少等不安材料が散見される状況であり、今後どう推移するか注視が必要。 | 自動車整備業     |
|       | 退会数・退会率は例年と大きな差はなかったが、1ヶ月体験キャンペーンを実施したことで入会はすべてそちらに流れ、単月では入会数は伸びなかった。体験参加者数は昨年の入会数より2割ほど多かった為、6月開始の入   | スポーツ・健康教授業 |

|     |  |            |
|-----|--|------------|
|     | <p>会に繋がってはいる。単月での入会数減少は見られたものの、昨年とキャンペーン内容を工夫した結果、第2四半期の入会数は対前年32%増が達成できた。</p>   |            |
|     | <p>5月も朝晩冷え込む日が多く、例年より衣替えが進んでないようで苦戦している組合員が多い。この時期（衣替え繁忙期）は業界にとって一番の書入れ時の為、ここで躓くと打撃は大きい。通年を通して物価高による消費者の方々の節約志向（クリーニングも節約の対象になりやすい為）も、気候不順よりもさらに深刻である。</p> | 普通洗濯業      |
|     | <p>スタッフも増え、売上も増加傾向にある。湯田温泉等で各種イベントが行われ、人の往来も増えているように感じる。</p>   | 飲食業        |
|     | <p>昨年同月比、売上は96.8%、宿泊人数は91.5%と大幅な減少となった。特に県外客が90.3%と大きく落ち込んだ。昨年は映画撮影があり常時多くのスタッフが宿泊していたという要因がある。また今年万博に人が流れているように思われる。インバウンドにおいては132.5%と大きな伸びとなった。</p>      | 旅館業<br>山口市 |
|     | <p>売上高・入浴者数共に前年度比3%程度の減少。ゴールデンウィークは後半には多くの入浴者があったが、平日は厳しい状況だった。物価高騰は継続しており、収益に大きく影響し、資金繰りは厳しい状況が続く。</p>  | 旅館業<br>長門市 |
|     | <p>依然として人手不足が続いている。今年のゴールデンウィークは飛び石連休だったこともあり後半は空室があった。</p>  | 旅館業<br>下関市 |
| 建設業 | <p>中電への工事申請99件（当支部68件）、前年同月73件（同62件）。太陽光発電への申請37件（前年11件）、オール電化申請41件（前年39件）。LED街路灯への切り替え・新設申請18件（前年11件）であった。</p>  | 電気工事業      |
|     | <p>数ヶ月前より工事施工量は大きく減少している。ただし、一部の事業所では6月より通常に近い工事量に回復する見通し。山口県下では東京・大阪に本社を置く全国レベルの工事は大きく減少している。</p>   | 左官工事業      |
|     | <p>工事入札をかけるなど、本格的に令和7年度が動き始めている。また、人手・不足については改善が見えない状況が続いている。</p>  | 管工事業       |
|     | <p>工事物件が少しずつ減少してきている。各社工事物件の確保に力を入れている。大手ハウスメーカーの物件も減少傾向にある。</p>   | 屋根工事業      |
|     | <p>全体的に小規模工事・現場工事が多く、同業他社の手伝いをしながら工場の稼働率を確保している状態。まだまだ厳しい状況が続くとの声がある一方で、昨年見積りした物件が大小数件決まって忙しいとの声もあり、組合員によって手持ち工事量に差が生じている。5月は見積物件の件数が若干増えたため、今後</p>        | 鉄骨・鉄筋工事業   |

|     |  |                   |
|-----|--|-------------------|
|     | に期待したい。  |                   |
|     | トランプ大統領の発言がぶれ始めており、二転三転する報復関税の発言に世界が翻弄されている。そのアメリカの景気失速が心配される中、アメリカのウクライナへの関与がどう展開するかに関心が向く。当組合の関係では、年度当初のため令和7年度の発注は、早くても5月下旬になると予想される。県の土木建築部の予算は、ほぼ横ばいである。先月、研修会に参加したところ、統計からみると土木建設業の労災事故はやや減少傾向にあるものの、業種別では多いとのことであった。労災事故の減少への啓発が必要で、組合員にはメール等で周知に努めている。   | 一般土木工事業<br>柳井市    |
|     | 5月の受注高は、前年比41.9%だった。今年度の累計は、前年比137.3%。   | 一般土木工事業<br>萩市     |
|     | 令和7年4月、5月の長門地区の公共事業発注高は、例年と比べて約8割と減少している。今年度は、県関係の公共工事において、早期発注の特例（一般競争入札対象工事を指名競争入札で発注）がなくなったためかと思われる。  | 一般土木工事業<br>長門市    |
| 運輸業 | また油が値上がりした。未だに、運送業界には明るい兆しさえ見えない状況である。   | 一般貨物自動車運送業<br>下松市 |
|     | 大手製造業の生産減速がみられ、荷動き・倉庫案件ともに減少している。新規顧客の獲得を早急に進める必要がある。人員不足の状態は変わらず続いているが、求人に対する反応は多少好転している模様。   | 一般貨物自動車運送業<br>宇部市 |
|     | タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比+1.7%（令和7年4月1日～令和7年5月20日分 今期24,406千円 前期24,000千円）。4月1日～4月30日分は、▲0.7%（今期15,494千円 前期15,607千円）5月1日～5月20日分は、+6.2%（今期8,912千円 前期8,393千円）4月分はマイナスだったものの、5月は増加傾向になったように感じる。当組合の取扱いタクシー事業者は、周南市・光市・下松市・防府市の地域です。4月分については、周南▲3.7%、下松+10.9%、光+1.7%、防府市地区が+6.7%で、組合員の全域では▲1.6%、地区外（員外）+7.8%、合計▲0.7%（▲113千円）だった。1月から回復傾向にあったが、4月分がマイナスとなった。5月分は増加傾向ではあるが、月次後半が悪い傾向にあるので予断を許さない状況。タクシー乗務員は労働条件が厳しい事もあって、慢性的危機的に不足している。個人タクシーも高齢での廃業が進み、後継者不在で減る一方である。乗務員の人件費が歩合給であり、勤務する乗務員の収入は悪くないのだが、総額収入金額が増 | 一般乗用旅客<br>自動車運送業  |

|            |  |              |
|------------|--|--------------|
|            | <p>加しないのに会社の運営経費は増加し続けているため、タクシー事業者の多くが赤字経営となっているようで、過去に積み上げた資産を取り崩しながらようやく運営しているといった状況。乗務員・後継者がいない事や、今後回復の見込みが立たない事から、老舗のタクシー事業者が廃業を決定し、個人タクシーも1人廃業となった。既にタクシー事業所が無い地域や、夜間はタクシーを配車できない地域もあり、過疎化や地域景況の衰退を加速させる事になっているのではないかと思われる。</p>                        |              |
|            | <p>増加した会員と、減少した会員があった為、今月の売上高は不変である。</p>   | <p>港湾運送業</p> |
| <p>その他</p> | <p>他業種では、原材料費や人件費上昇に対し不十分ながらも価格転嫁が進んでいるようだが、医療・介護業界では報酬は介護保険という国が決めた価格であるため転嫁しきれず、収益が改善していない事業所が多い。多くの事業所で深刻な人手不足ではあるが、昨年10月からの最低賃金の上昇により、新規の人材獲得への対応に苦慮している。人手不足により利用者の受け入れが困難となり、収益力の足かせとなるという悪循環が起こっている。収益の減少と人材確保が困難な状況の中で、今後の事業運営を懸念する報告が多く寄せられている。</p> | <p>介護事業</p>  |